令和元年第1回（10月）

広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会会議録

広島県後期高齢者医療広域連合議会

令和元年第1回広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会会議録目次
第1日（10月18日）

出席議員	1
欠席議員	1
説明員	1
議事補助員	2
議事日程	2
会議に付した事件	3
開会・開議宣告(午後2時00分)	3
広域連合長の議会招集挨拶	4
日程第1 仮議席の指定について	5
諸般の報告	5
日程第2 議長の選挙について	5
追加議事日程	6
日程第1 議席の指定について	6
会議録署名者の指名	7
日程第2 会期の決定について	7
日程第3 副議長の選挙について	7
日程第4 議案第1号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について	9
日程第5 議案第2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定	10
日程第6 議案第3号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号)	21
日程第7 議案第4号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	22
議了宣告	24
広域連合長の閉会挨拶	24
閉会宣告(午後2時55分)	24
会議録署名	25

広島県後期高齢者医療広域連合議会会議録 第29号

令和元年10月18日(金曜日)エソール広島

出席議員

1番	今	田	良	治
2番	藤	井	敏	子
3番	八	軒	幹	夫
6番	上	村	臣	男
7番	大	川	弘	雄
9番	福	原	謙	二
10番	熊	谷	寿	人
11番	連	石	武	則
12番	大	本	千香	子
13番	小	田	伸	次
15番	寺	岡	公	章
16番	乘	越	耕	司
17番	井	上	佐智	子
18番	秋	田	雅	朝
19番	山	本	一	也
20番	児	玉	利	典
21番	久留島	元	生	
22番	諏訪本		光	
23番	光	岡	美	里
24番	矢	立	孝	彦
25番	山	形	しのぶ	
26番	信	谷	俊	樹
27番	福	田	義	人
28番	久保田	龍	泉	

欠席議員

4番	山	路	英	男
5番	森	本	茂	樹
8番	仁ノ岡	範	之	
14番	宇江田	豊	彦	

説明員

広域連合長
代表監査委員

平 谷 祐 宏
寶 来 伸 夫

広域連合事務局長	寺 崎 雅 浩
広域連合事務局次長兼総務課長	谷 川 昌 行
業務課長	恒 次 和 浩
総務課企画財政係長	出 合 真 純
業務課事業管理係長	高 橋 弘 樹
業務課課長補佐兼賦課収納係長	岡 本 巧 一

議事補助員

議会事務局長	山 西 一 幸
議会事務局次長	山 口 晶
書記	森 本 真 澄

議事日程（第1号）

（令和元年10月18日 午後2時開議）

- 日程第1 仮議席の指定について
- 日程第2 議長の選挙について
- 追加議事日程
- 日程第1 議席の指定について
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 副議長の選挙について
- 日程第4 議案第 1号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について
- 日程第5 議案第 2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定
- 日程第6 議案第 3号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算（第1号）
- 日程第7 議案第 4号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
-

会議に付した事件
議事日程のとおり

午後 2 時 開 会

○広域連合議会事務局長（山西一幸）

申し上げます。

本日の定例会は、議長及び副議長が空席となっておりますので、議長が選挙されるまでの間、地方自治法第 107 条の規定によりまして、年長の議員が臨時の議長の職務を行うこととなっております。

出席議員中、江田島市の山本議員が年長でございますので、山本議員に臨時議長として議事の進行を行っていただきます。よろしくお願いいたします。

○臨時議長（山本一也）

ただいま紹介いただきました江田島市の山本でございます。地方自治法第 107 条の規定によりまして、臨時の議長の職務を行います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ここで、開会に先立ちまして、謹んで御報告を申し上げます。当広域連合議会の議員であった小菅卷子議員は、去る 6 月 13 日に逝去されました。まことに痛恨の極みでございます。小菅卷子議員に哀悼の意を表し、黙祷いたしたいと思っておりますので、皆様、御起立をお願いいたします。

（一同起立）

これより、黙祷を行います。黙祷。

（全員黙祷）

お直りください。黙祷を終わります。御着席ください。

ただいまの出席議員 24 名であります。地方自治法第 113 条により定足数に達しておりますので、ただいまから、令和元年第 1 回広島県後期高齢者医療広域連合議会定例会を開会いたします。これより本日の会議を開きます。会議の

開会に際しまして、広域連合長の御挨拶があります。広域連合長。

◎広域連合長（平谷祐宏）

はい、皆さんこんにちは。令和元年第1回広域連合議会の定例会の開会に当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

まず最初に、昨年の7月の豪雨災害によりまして、多くの県内の自治体が被災して、現在も復旧に、また復興に向けて取り組んでおられる最中ですが、皆さん御承知のとおり、台風の15号、そして先日の台風19号により、東日本を中心として、本当に広域のエリアにおいて、甚大な被害が発生しているところでございます。多くの方が亡くなられ、また避難生活をされたり、非常に懸命に復旧に向けて取り組んでおられる皆さん方がおられることと思っておりますが、そのような中で、お亡くなりになられた方々の御冥福をお祈りするとともに、被災者の皆様に心からお見舞い申し上げたいと思っております。

さて、本日、本定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、本当に御多用のところ御出席をいただき、ありがとうございます。

広域連合、後期高齢者医療制度が平成20年にスタートして11年が経過いたしました。この間、後期高齢者の数も増加し続けており、国においては、更なる医療保険制度改革が進められているところです。こうした中、後期高齢者をはじめとした高齢者の健康寿命の延伸を図るため、来年度から保健事業と介護予防等との一体的実施が施行されることとなりました。当広域連合といたしましても、今後とも国の動向をしっかりと把握しながら、市町や関係機関と連携し適切な運営に努めて参りたいと考えております。

そういった中で、本定例会では、平成30年度歳入歳出決算認定をはじめ、補正予算案等の重要案件を提出させていただいております。

これらの案件につきましては、後ほど御説明申し上げますが、何とぞ慎重に御審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、開会にあたっての挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしく願います。

○臨時議長（山本一也）

本日の議事日程は、お手元に配付しております議事日程（第1号）のとおりでございます。この日程によって議事を進めて参りたいと思っておりますが、御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（山本一也）

異議ないものと認め、この日程で進めさせていただきます。

△ 日程第 1 「仮議席の指定について」

○臨時議長（山本一也）

日程第 1 「仮議席の指定について」を議題とします。仮議席は、ただいま御着席の議席といたします。この際、御報告いたします。一身上の都合により、3 名の方から辞職願が提出され、閉会中につき、それぞれ北広島町の大林正行議員については、平成 31 年 3 月 20 日付けをもって、また庄原市の堀井秀昭議員については、平成 31 年 4 月 26 日付け、福山市の塚本裕三議員については、令和元年 5 月 13 日付けで許可をされておりますことを御報告いたします。

△ 日程第 2 「議長の選挙について」

○臨時議長（山本一也）

次に、日程第 2 「議長の選挙について」を議題とします。お諮りします。選挙の方法につきましては、地方自治法第 118 条第 2 項の規定によって指名推選したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（山本一也）

異議なしと認めます。選挙の方法は、指名推選で行うことに決定しました。お諮りします。指名は、臨時の議長において行いたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○臨時議長（山本一也）

異議なしと認めます。臨時議長が指名することに決定しました。それでは、

議長に1番今田議員を指名します。お諮りいたします。1番今田議員を議長の当選人と定めることに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○臨時議長(山本一也)

異議なしと認めます。よって、1番今田議員が議長に当選されました。ただいま議長に当選されました今田議員が議場におられますので、当選の告知を行います。以上で私の議事進行の職務を終わり、議長に交代させていただきます。協力ありがとうございました。

○議長(今田良治)

ただいま議長に選出いただきました今田でございます。それでは、一言御挨拶をさせていただきます。

この度は、広域連合議会の議長に御推挙いただき、誠に身に余る光栄でありますとともに、身の引き締まる思いでございます。今後とも議員各位の御支援と御協力を賜りながら、広島県後期高齢者医療広域連合の円滑な議会運営を心がけたいと思っておりますので、よろしく願いいたします

○議長(今田良治)

本日の議事日程は、お手元にお配りしている追加議事日程(第1号の追加1)でございます。この追加議事日程により議事を進めて参りたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(今田良治)

御異議ないものと認めて、この日程で進めさせていただきます。

△ 日程第1 「議席の指定について」

○議長(今田良治)

それでは、日程第1「議席の指定について」ですが、議席は、会議規則第

4条第1項により議長が指定いたします。

議席は、現在着席されている席とします。なお、本日の「会議録署名議員」として16番乗越議員、27番福田議員を指名いたします。

△ 日程第2 「会期の決定について」

○議長（今田良治）

それでは、日程第2「会期の決定について」を議題とします。お諮りします。本定例会の会期を本日1日間としたいと思えます。御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（今田良治）

御異議なしと認めます。よって、会期を本日1日間と決定いたします。

△ 日程第3 「副議長の選挙について」

○議長（今田良治）

次に、日程第3「副議長の選挙について」を議題とします。お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条第2項の規定によって指名推選をしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（今田良治）

御異議なしと認めます。選挙の方法は、指名推選で行うことと決定いたし

ました。

お諮りいたします。指名は、議長において行いたいと思います。これに異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（今田良治）

御異議なしと認めます。議長が指名することに決定いたしました。それでは、副議長に10番熊谷議員を指名します。お諮りします。10番熊谷議員を副議長の当選人と定めることに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（今田良治）

御異議なしと認めます。よって、10番熊谷議員が副議長に当選されました。ただいま副議長に当選されました熊谷議員が議場におられますので、当選の告知をいたします。それでは、熊谷議員を紹介します。熊谷議員。

○副議長（熊谷寿人）

ただいま副議長に選出いただきました熊谷でございます。一言御挨拶を申し上げます。

この度、皆様に副議長に御推挙いただきまして、誠に光栄でございます。

微力ではございますが、皆様の御指導のもと、議長の補佐役として、当議会の円滑な運営をしてみたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。ありがとうございました。

○議長（今田良治）

この際、御報告いたします。理事者側の説明員として、平谷広域連合長、寶来代表監査委員、寺崎広域連合事務局長、谷川事務局次長兼総務課長、恒次業務課長、総務課出合企画財政係長、業務課岡本課長補佐兼賦課収納係長、業務課高橋事業管理係長を呼んでおりますことを御報告申し上げます。

また、議場配付いたしました「例月出納検査」結果について、監査委員から議長あての報告書の提出がありましたので御報告いたします。

△ 日程第4 「議案第1号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について」

○議長（今田良治）

次に日程第4「議案第1号 広島県後期高齢者医療広域連合監査委員の選任について」を議題とします。地方自治法第117条の規定により、6番上村臣男議員の退席を求めます。

○議長（今田良治）

本件の説明を求めます。

◎広域連合長（平谷祐宏）

（挙手）

○議長（今田良治）

広域連合長。

◎広域連合長（平谷祐宏）

ただいま上程をされました議案第1号について御説明を申し上げます。

本案は、中田光政氏の監査委員の辞職に伴いまして、現在欠員となっております広域連合議員選出の監査委員として上村臣男氏を選任することについて、御同意をお願いするものでございます。

議案書の履歴書にございますように、上村臣男氏は、現在、呉市議会副議長の職を務めておられ、知識、経験ともに豊かな方であることから、広域連合監査委員として適任と存じます。

何とぞ御同意賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（今田良治）

本件は、事後の議事手続を省略して直ちに採決したいと思っております。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（今田良治）

本件を採決いたします。本件を同意することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（今田良治）

御異議はないものと認めます。よって、本件は同意されました。退席中の上村議員の入場を許可します。

○議長（今田良治）

上村光政議員の選任については、同意されました。

△ 日程第5 「議案第2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合
歳入歳出決算認定」

○議長（今田良治）

次に日程第5「議案第2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」を議題とします。

本件の説明を求めます。

なお、本件の説明につきましては、長くなりますので、座って説明していただいて結構です。

◎広域連合事務局長（寺崎雅浩）

（挙手）

○議長（今田良治）

広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（寺崎雅浩）

それでは、「議案第2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」について、御説明を申し上げます。

まず、私が議案書について説明をし、歳入歳出決算書附属書類及び主要な施策の成果説明書につきましては、事務局次長及び業務課長から説明をさせていただきます。

恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

恐れ入ります、議案書の3ページ、4ページをお開きください。一般会計の歳入でございます。一番下の合計欄でございますけども、右から三番目、予算現額が11億2,597万円、その右の調定額、それから収入済額がともに

10億9,978万6,241円でございます。恐れ入ります、5ページ、6ページをお開きください。歳出でございますが、同じく一番下の合計欄ですけれども、予算現額が11億2,597万円、支出済額が10億3,468万7,308円、不用額が9,128万2,692円でございます。先ほどの歳入の収入済額からこの支出済額を差し引いた、表の下、欄外に記載しております歳入歳出差引残額は6,509万8,933円となり、令和元年度に繰り越しをしています。

次に、広域連合の事務局の次長から附属書類の説明をさせていただきます。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

議長。

○議長（今田良治）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

それでは、お手元の別冊1「歳入歳出決算書附属書類」の一般会計について、御説明申し上げます。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

それでは、別冊1の1ページ、2ページをお開きください。一般会計の歳入でございます。「1款 分担金及び負担金」の収入済額は10億9,489万7,436円で、全額が23市町からの事務費分賦金でございます。「2款 国庫支出金」の収入済額は30万440円でございます。「3款 財産収入」は、全額が基金の運用による利子収入で、収入済額は2万3,807円でございます。一つ飛びまして「5款 繰越金」は、全額が平成29年度の歳計剰余金で、収入済額は451万3,961円でございます。「6款 諸収入」の収入済額は5万597円でございます。

続きまして、歳出について御説明いたします。恐れ入ります、5ページ、6ページをお開きください。「1款 議会費」は、広域連合議会の開催に係る経費で、支出済額は86万2,544円、不用額は135万8,456円でございます。次の「2款 総務費」は、事務費や光熱水費、職員手当や給料等負担金をはじめとした総務管理費並びに選挙費及び監査委員費で、支出済額は2億8,906万4,766円、不用額は1,995万9,234円でございます。一つ飛びます、恐れ入りますが9ページ、10ページをお開きください。「3款 民生費」でございます。これは、特別会計への繰出金で、支出済額は7億4,475万9,998円で、不用額は6,480万2,002円で、これは、特別会計の事務費の縮減を行なったことによるものでございます。続きまして、11ページをお開きください。一般会計の「平成30年度実質収支に関する調書」でございます。議案書で説明させていただきましたように、「3 歳入歳出差引額」、及び「5 実質収支額」とも6,509万8千円でございます。

一般会計の説明は、以上でございます。

◎広域連合事務局長（寺崎雅浩）
（挙手）

○議長（今田良治）
広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（寺崎雅浩）

続きまして、特別会計の決算について御説明を申し上げます。座って説明をさせていただきます。議案書にお戻りいただきまして、7ページ、8ページをお開きください。歳入でございます。表の一番下の欄でございますが予算現額が4,060億7,044万2千円、調定額が4,079億3,265万4,354円、収入済額が4,078億3,353万3,823円、不納欠損額が54万6,688円、収入未済額が9,857万3,843円でございます。恐れ入ります、9ページ、10ページをお開きください。歳出でございます。表の一番下の欄でございますけども、予算現額が4,060億7,044万2千円、支出済額が4,015億1,823万4,498円、不用額が45億5,220万7,502円でございます。先ほどの歳入の収入済額からこの支出済額を差し引きしました、表の下、欄外に記載をしております歳入歳出差引残額は63億1,529万9,325円となり、令和元年度に繰り越しをしております。

次に、業務課長の方から附属書類の説明をさせていただきます。

◎業務課長（恒次和浩）
議長。

○議長（今田良治）
業務課長。

◎業務課長（恒次和浩）

それでは、別冊1「歳入歳出決算書附属書類」の後期高齢者医療特別会計について、御説明を申し上げます。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。12ページ、13ページをお開きください。「1款 市町支出金」は、市町が被保険者から徴収した保険料と、医療給付費の12分の1相当分の市町負担金で、「収入済額」が682億4,327万0,559円でございます。「2款 国庫支出金」は、医療給付費の12分の3相当分の国庫負担金や、広域連合間の財政調整を目的として交付される調整交付金などの国庫補助金で、収入済額が1,390億8,888万7,088円でございます。続いて、14ページ、15ページをお開きください。「3款 県支出金」は、医療給付費の12分の1相当分及び高額医療給付費に対する県負担金で、収入済額が331億3,029万2,045円ござ

います。「4款 支払基金交付金」は、現役世代が加入する健康保険組合等が医療給付費の10分の4相当分が、社会保険診療報酬支払基金を通じて交付されるもので、収入済額が1,633億1,309万6,404円でございます。続いて、16ページ、17ページをお開きください。「5款 特別高額医療費共同事業交付金」は、国保中央会が実施している当該共同事業に全国の広域連合が拠出し、著しく高額な医療給付費が発生した場合に、国保中央会から交付される交付金で、収入済額が8,375万8,710円でございます。「6款 財産収入」は、基金の利子収入で、収入済額が106万7,004円でございます。「7款 繰入金」は全額が特別会計事務費の一般会計からの繰入金で、収入済額は7億4,475万9,998円でございます。「8款 繰越金」の収入済額は27億6,386万5,715円でございます。「9款 県財政安定化基金借入金」は収入実績がございません。続いて、18ページ、19ページをお開きください。「10款 諸収入」は、延滞金、預金利子、第三者納付金等を収入したもので、収入済額は4億6,453万6,300円で、不納欠損額が54万6,688円、「収入未済額」が9,857万3,843円でございます。「4目 第三者納付金」は、交通事故など第三者の行為による病気やケガについて、後期高齢者医療で治療を受けたものに対して、医療給付費の求償を行っているもので、収入未済額は2,919万2,405円でございます。「5目 返納金」は、医療機関等での一部負担割合が1割から3割に変更となるなど被保険者に医療給付費の差額分を請求しているもので、収入未済額が6,938万1,438円のうち、滞納繰越分の6,100万円余りは、2件の不正請求による未済分で、これらについては、損害賠償債務承認弁済契約に基づき、分割で返済を受けております。第三者納付金や返納金の収入未済分につきましては、今後も適切な事務処理により、回収に努めてまいります。また、収入未済額左側の不納欠損額54万6,688円につきましては、過去に発生した収入未済であり、督促等、徴収事務を行ったものの収入されなかったため、地方自治法の規定により、5年経過により消滅時効となったものです。

続きまして、歳出について御説明いたします。22ページ、23ページをお開きください。「1款 総務費」は、給付事業等の運営のための事務経費で、支出済額は8億1,188万3,955円、不用額は4,181万1,045円でございますが、これは、被保険者への書類送付に係る郵便料、被保険者証等印刷・封入業務委託料及び療養費支給申請書内容点検業務委託料等が見込みを下回ったことが主な要因でございます。続いて、24ページ、25ページをお開きください。「2款 保険給付費」は、被保険者への療養給付費及び審査支払い手数料等で、支出済額は3,959億0,326万8,755円、不用額は44億3,799万7,245円でございますが、これは、平成30・31年度の保険料率の設定を平成29年度に行った際、1人当たりの医療給付費の伸び率を、対前年度0.2%増と見込みましたが、実績の伸び率は対前年度0.6%減となったことにより見込みを下回ったことが主な要因でございます。「3款 特別高額医療費共同事業拠出金」は、国保中央会が実施している当該共同事業に対する拠出金で、支出済額は8,999万

0,836円、不用額は1,420万8,164円でございます。続いて、26ページ、27ページをお開きください。「4款 保健事業費」は、市町が実施した健康診査事業、長寿・健康増進事業及び低栄養防止・重症化予防等推進事業に対する補助金並びに広域連合が実施した後発医薬品差額通知、歯科健康診査業務委託料等で、支出済額は3億7,473万3,691円、不用額は2,822万8,309円でございます。「5款 基金積立金」は、広域連合が設置、管理しております後期高齢者医療給付準備基金へ積立てを行ったもので、支出済額は106万7,004円、不用額は996円でございます。続いて、28ページ、29ページをお開きください。「7款 諸支出金」は、国、県及び市町への療養給付費負担金の返還金及び保険還付金等で、支出済額は43億3,729万0,257円、不用額は171万4,743円でございますが、これは、保険料還付金及び還付加算金が見込みを下回ったことが主な要因でございます。続いて、30ページをお開きください。特別会計の「平成30年度 実質収支に関する調書」でございます。議案書で説明いたしましたとおり、「3 歳入歳出差引額」及び「5 実質収支額」とも63億1,529万9千円でございます。なお、この実質収支額には、国庫支出金の定率負担金、後期高齢者交付金等について、概算で交付を受けており、医療給付費等の確定に伴い、それぞれ返還が生じておりますので、この剰余金については、国等への負担金を返還するための財源となるものでございます。続いて、31ページをお開きください。「財産に関する調書」でございますが、「4 基金」につきましては、平成30年度末の時点での基金残高は、財政調整基金が2億4,825万8千円、後期高齢者医療給付準備基金が106億9,748万4千円となっております。

以上で「歳入歳出決算書附属書類」の説明を終わらせていただきます。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

議長。

○議長（今田良治）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

それでは、最後に、別冊2「平成30年度主要な施策の成果説明書」について、主なものを御説明いたします。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。

それでは、別冊2の5ページをお開きください。まず、一般会計でございます。5ページ横長の資料でございます。（2）後期高齢者医療特別会計繰出金事業」でございます。特別会計で行う、給付事業等に要する事務費として、一般会計から民生費として、特別会計へ7億4,475万9,998円を繰り出したもの

です。

続きまして、特別会計について御説明いたします。少し飛びますが14ページをお開きください。14ページ(1)後期高齢者医療広報事業でございます。パンフレットを作成、配布するなど、後期高齢者医療制度の周知に係る広報活動を行い、制度の円滑な運営を図ったものでございます。事業費は、4,037万5,207円でございます。恐れ入ります、一つ飛びまして16ページをお開きください。16ページ(2)広域連合電算処理システム運用管理事業でございます。これは、後期高齢者医療制度運営の基幹となる広域連合電算処理システムの安定稼働及び効率的な運用を図るため、必要な保守、管理を行うもので、事業費は、2億5,618万94円でございます。主なものといたしましては、制度改正への対応やセキュリティ対策強化のための独自プログラムの開発を行いました。続きまして、隣の17ページを御覧ください。また、平成30年度は、平成24年度に導入いたしました標準システム機器が耐用年数を経過することから標準システムの機器更改を併せて行いました。恐れ入ります、18ページをお開きください。(3)医療費適正化対策事業でございます。後期高齢者医療制度の安定的な運営を確保するための事業に取り組み医療費の適正化を図ったものでございます。主なものといたしましては、表の2段目の「医療費通知」の欄を御覧ください。医療費通知は、不正請求の防止やコスト意識の高揚を図るため、受診年月、医療機関名、日数、医療費の総額等を掲載した明細書を、被保険者に年2回、延べ約77万件通知いたしました。事業費は、表の一番右にありますように5,073万5,761円でございます。恐れ入ります19ページを御覧ください。療養費支給申請書内容点検でございます。柔道整復、はり、灸及びあん摩、マッサージに係る療養費の支給申請書に対して内容点検を行い、一部の申請において調査を行い、適正な給付に努めることにより療養費の適正化を図ったものでございます。平成30年度は、被保険者への照会を延べ約2,000件行い、事業費は809万8,704円でございます。それでは続きまして20ページをお開きください。(4)療養諸費事業でございます。これは、入院や入院外、歯科、調剤などの保険者負担分の療養給付費、コルセット等治療用装具を作製した場合などに給付される療養費等で合計の保険者負担額は、表の右から2列目の下から3行目にありますように、3,787億4,731万673円となっております。また隣の21ページには、受診率や1件当たり及び1人当たりの日数、費用額等をお示しております。この表の一番下の行、療養給付費と療養費等を合わせた、1人当たり費用額は、右から2列目のとおり105万4,883円、1人当たりの保険者負担額は、一番右側の列のとおりに92万4,710円となっております。恐れ入ります、22ページをお開きください。(5)高額療養諸費事業でございます。これは、月間で自己負担限度額を超えた場合に給付する高額療養費、年間の医療保険と介護保険の自己負担額を合算した額が基準額を超えた場合に給付する高額介護合算療養費の給付をそれぞれ行ったもので、件数と保険者負担額は上側の表のとおりで、合計は150億7,392万959円となって

おります。恐れ入ります1枚おめくりいただいて、24ページをお開きください。（7）健康診査事業でございます。これは、市町が実施いたしました後期高齢者の健康診査事業及び歯科健康診査事業に対する補助金の交付や、業務委託による歯科健康診査の実施により、受診の促進を図ったものでございます。事業費は、1億5,307万5,354円でございます。まず、事業の内容ですが、1の健康診査事業を御覧ください。平成30年度の受診者数は41,562人、受診率は12.05%となっております。前年度と比べ、受診者が3,536人、受診率は0.68ポイント、それぞれ増加しました。25ページを御覧ください。2の歯科健康診査事業市町補助分でございます。受診者数は表にありますように480人で、受診率は0.12%となっており、前年度に比べ受診者数は141人、受診率は0.04ポイントそれぞれ減少いたしました。歯科健康診査につきましては、平成30年度から新たに、その次の3の歯科健康診査事業（広域連合実施分）を実施しております。これは、県内全市町を対象に、年齢到達により新たに後期高齢者医療に加入した被保険者を対象とするもので、更なる受診機会の拡充を図ることを目的として実施したものでございます。平成30年度の受診者数は表にありますように544人でございます。引き続き、市町の取組に協力し、受診率の向上に努めてまいりたいと考えております。

26ページをお開きください。（8）後発医薬品（ジェネリック医薬品）使用促進事業でございます。まず、後発医薬品（ジェネリック）の周知でございますが、これは、後発医薬品の周知と利用促進を図るため、新規資格取得者に対してジェネリック医薬品希望カードを被保険者証の交付に併せて配付したものでございます。事業費は158万4,528円でございます。次に、後発医薬品差額通知でございます。これは後発医薬品を利用した場合の先発医薬品と薬剤料の差額について、4万4,754人に通知をいたしまして、42.7%にあたる1万9,108人が、切り替えを行いました。これに伴う財政効果推計額は、年額換算いたしまして約3億5千万円と試算しております。事業費は、626万4千円でございます。なお、平成30年度からはジェネリック医薬品希望シールを被保険者証の一斉更新時等に併せて配布することとし、後発医薬品の周知と利用促進を図りました。隣の27ページを御覧ください。（9）重複・頻回受診者訪問指導事業でございます。これは、レセプト情報等により選定した重複・頻回受診者に対しまして、保健師等により訪問指導を行い、適正受診を図りました。平成30年度は、46人を訪問指導いたしました結果、約46%の21人が改善されております。事業費は、98万2,800円です。28ページをお開きください。

（10）健康増進費補助事業でございます。まず、1の長寿・健康増進事業について、でございます。これは、市町が実施する被保険者の健康づくりを促進する事業に対して補助金を交付したもので、健康教育や相談、人間ドックやはり、灸等への助成などの延べ25市町の事業に対しまして、1億8,105万4,009円の補助金を交付いたしました。事業費は、前年度と比べまして699万円余りの増となっております。29ページを御覧ください。2の低栄養防止・重症化

予防等推進事業でございます。これは生活習慣病等の重症化予防や低栄養、運動機能低下などの進行予防を目的として、保健師等による訪問指導を実施した4つの市に対して、延べ3,177万3千円の補助金を交付いたしました。

別冊2の説明は以上でございます。

なお、監査委員の意見書の説明は省略させていただきますが、平成30年度の歳入歳出決算書等につきましては、本年8月22日に監査委員の審査をいただき、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は正確であり、また、予算の執行は、適正であると認めていただきました。

以上で、「議案第2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」についての説明を終わらせていただきます。

御審議の上、認定を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（今田良治）

これより質疑を行います。

議案第2号につきまして、通告がございましたので、発言を許可いたします。
2番藤井敏子議員。

○2番（藤井敏子議員）

はい、広島市議会議員の藤井敏子です。よろしくお願いいたします。

私は、「議案第2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」について、まず保険料についてと、平成30年度に行われた後期高齢者保険料軽減特例の見直しの影響について二点質問いたします。

まず、一点目は保険料についてです。保険料は平成26年から2年ごとに改定されてきました。今回1人当たりの保険料はいくらで、その推移もお答えください。そして、被保険者本人の平成29年度の所得割が2割軽減だったのを平成30年度から軽減なしにしたことによる影響について、対象者数と影響額はいくらかお答えください。

そして、平成30年度に被用者の元被扶養者に対する均等割が7割軽減から5割軽減になった影響について、対象者数と影響額はいくらかお聞きいたします。

そして二点目は保険料滞納者に対する対応についてです。まず、加入者総数と、そのうち資格証明書と短期保険者証を発行している自治体の総数とそれぞれの件数と、また推移もお答えください。そして二つ目は保険料滞納者のうち差し押さえとなった方は何人いらしているのかお答えください。

○議長（今田良治）

当局の答弁を求めます。

◎業務課長（恒次和浩）

(挙手)

○議長（今田良治）

業務課長。

◎業務課長（恒次和浩）

質問にお答えします。まず、新料率算定時における軽減措置後の1人当たり保険料の推移でございますが、平成20・21年度が60,310円、平成22・23年度が63,801円、平成24・25年度が67,241円、平成26・27年度が66,811円、平成28・29年度が67,165円、平成30・31年度が70,664円でございます。

次に、所得割軽減と均等割軽減の見直しによる対象者と影響額についてでございますが、平成30年度では、所得割につきまして、2割軽減されていたものが廃止され、本来納めていただく所得割額となりました。その対象者数は約5万1,800人で、影響額は約2億7,200万円でございます。

また、均等割につきまして、御家族の会社の健康保険などで被扶養者であった方を対象として、7割軽減されていたものが、5割軽減となりました。その対象者数は約1万2,300人で、影響額は約1億2,600万円でございます。

次に短期被保険者証でございますが、短期被保険者証につきましては、収納対策を効果的かつ効率的に行うために被保険者と折衝いたしまして、納付相談の機会を増やすことが重要であるとの観点から原則として、前年度末以前の保険料に滞納がある被保険者に対して、通常の有効期間が半分である6箇月を有効期間として交付を行っております。

また、短期被保険者証の発行件数の推移でございますが、各年8月1日を基準日といたしまして、平成26年度では、発行自治体数は20団体で、被保険者数は368,960人に対して、短期被保険者証の発行件数は2,154件、平成27年度では、発行自治体数は20団体で、被保険者数は375,166人に対して、短期被保険者証の発行件数は1,993件、平成28年度では、発行自治体数は20団体で、被保険者数は386,888人に対して、短期被保険者証の発行件数は2,068件、平成29年度では、発行自治体数は21団体で、被保険者数は398,471人に対して、短期被保険者証の発行件数は2,353件、平成30年度では、発行自治体数は22団体で、被保険者数は408,128人に対して、短期被保険者証の発行件数は2,357件でございます。

最後に、滞納者に対する差し押さえについてでございますが、差し押さえにつきましては、保険料が納付できないことについて特別な事情がないにもかかわらず、長期にわたり保険料を滞納している場合に、保険料の収納が市町の担当事務であることから、市町での実情に即して、預貯金、不動産の差押えなどの滞納処分を行っております。また、差押え件数でございますが、平成28年度では324件、平成29年度では399件、平成30年度では475件、でございます。

以上でございます。

○議長（今田良治）
2番藤井敏子議員。

○2番（藤井敏子議員）

はい、結構でございます。保険料はこの制度が始まった10年前から約1万300円引き上げられていることとなります。特に低所得者への特例軽減措置の廃止による影響を受けた対象者は、合わせて6万4,100人、その影響額は3億9,800万円という負担増になったわけです。また、滞納者に発行された短期被保険者証も2,357件と毎年増え続け、差し押さえ件数も29年度の約1.5倍に増えています。一方、老齢基礎年金の給付額、10年前と比べても1万2,000円も減額されています。その上被保険者にとっては、この2年間の急激な保険料の負担が増えることとなりますが、後期高齢者広域連合としてはこういった対応されてきたのかお伺いします。

○議長（今田良治）
当局の答弁を求めます。

◎広域連合事務局長（寺崎雅浩）
議長。

○議長（今田良治）
広域連合事務局長。

◎広域連合事務局長（寺崎雅浩）

保険料の特例軽減措置につきましては、制度スタートから低所得者に対して実施されてきたところでございますが、その見直し等の動きがあったことから、これまで、全国後期高齢者医療広域連合協議会、こちらの方から厚生労働大臣に対し、低所得者等に対する保険料軽減措置につきましては、生活に影響を与える保険料とならないよう現行制度を維持することと併せて恒久化についても検討するよう、また、やむを得ず見直す場合につきましては、低所得者に対する負担軽減措置と併せて実施するとともに、保険者の負担を最小限に抑え、急激な増加とならないよう、きめ細かな激変緩和措置を講じるよう、そういった要望をしてきたところでございます。しかしながら、平成29年度から、段階的に保険料の軽減特例の見直しが行われております。このため、当広域連合といたしましては、そういった見直しにつきまして被保険者の方々に対し、リーフレットの送付を行うなど制度改正の周知に努めてきたところでございます。

当広域連合といたしましては、引き続き、国への要望を行うとともに、制度改正に際しましては、被保険者の方に御理解、御協力をいただけますよう、きめ細かい対応をしてまいりたいと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（今田良治）

2番藤井敏子議員。

○2番（藤井敏子議員）

はい。いま高齢者の半分は公的年金だけで暮らしています。貯蓄を切り崩しながら生活をされておられます。これ以上の負担増は高齢者の生きる意欲や希望までも奪うと思います。保険料軽減特例措置の縮小、廃止をやめるよう国に強く働きかけていただくよう、最後、要望させていただきます。以上で終わります。

○議長（今田良治）

本件については、他に発言の通告がありませんので、質疑を終結いたします。

これより討論を行います。議案第2号につきまして通告がございましたので、発言を許可いたします。2番藤井敏子議員。

○2番（藤井敏子議員）

「議案第2号 平成30年度広島県後期高齢者医療広域連合歳入歳出決算認定」に対して反対の立場から討論いたします。

この制度は、そもそも病気になりがちで収入が少なく暮らしが不安定な人が多い75歳以上を一つの保険に集めて行う制度設計そのものに無理があります。保険料も高齢者が増えれば増えるほど保険料アップにつながる仕組みです。政府は平成27年度から低所得者の人などが対象の保険料の特例軽減措置の縮小、廃止に踏み出すことを決めました。その上、今年10月1日からは消費税10%が強行され、高齢者の暮らしをめぐる状況はますます厳しくなるばかりです。平成30年度は年金給付額の削減が続く中で行われた保険料軽減特例措置の段階的な廃止の1年目にあたるもので、高齢者の暮らしの実態を無視した、あまりに過酷な負担増を実施した今決算は認定できるものではありません。

よって反対いたします。

○議長（今田良治）

本件については、他に発言の通告がありませんので、討論を終結いたします。

これより採決に入ります。お諮りいたします。議案第2号につきまして、原案のとおり認定することに賛成の方は御起立願います。

(賛成者起立)

起立多数。よって、本件は認定されました。

△ 日程第6 「議案第3号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合 一般会計 補正予算(第1号)」

○議長(今田良治)

次に日程第6「議案第3号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号)」を議題とします。

本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局次長(谷川昌行)

議長。

○議長(今田良治)

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長(谷川昌行)

ただいま、上程されました議案につきまして、御説明申し上げます。

「議案第3号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合一般会計補正予算(第1号)」についてでございます。恐れ入りますが、座って説明させていただきます。それでは、議案書の11ページをお開きください。議案書11ページでございます。一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ6,551万8千円を追加し、予算の総額をそれぞれ13億1,172万3千円とするものでございます。12ページを御覧ください。この補正の内容について御説明いたします。まず、歳入でございます。「2款 国庫支出金」「1項 国庫補助金」の42万円の追加は、令和2年4月1日より改正健康保険法等が施行されることに伴う、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に関しまして、厚生労働省が主催する説明会等への参加に要する費用に対する補助金を計上したものでございます。次に「5款 繰越金」「1項 繰越金」の6,509万8千円の追加は、平成30年度の決算剰余金を計上したものでございます。恐れ入ります13ページをお開きください。歳出でございま

す。「2款 総務費」「1項 総務管理費」の6,551万8千円の追加についてでございます。その内訳でございますが、まず一点目は先ほど申し上げました国からの補助があることとなっております保健事業の厚生労働省が主催する説明会等への参加旅費について42万円を計上、二点目といたしましては平成30年7月豪雨災害にかかる支給事務等の事務量の増加に伴いまして、職員の時間外勤務手当について700万円を、三点目といたしまして、平成30年度の決算剰余金のうち、先ほど申し上げました700万円を差引いた、5,809万8千円を財政調整基金への積立額としてそれぞれを計上したものでございます。

以上、上程されました議案につきまして概要を御説明申し上げます。

御審議の上、議決を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（今田良治）

本件の質疑については、発言の通告がありませんので、本件質疑を終結します。次に討論ですが、発言の通告がありませんので、本件討論を終結します。

本件を採決いたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の方は御起立願います。

（賛成者起立）

○議長（今田良治）

はい、ありがとうございます。

起立総員。よって、本件は可決されました。

△ 日程第7 「議案第4号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計 補正予算（第1号）」

○議長（今田良治）

次に日程第7「議案第4号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」を議題とします。

本件の説明を求めます。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

議長。

○議長（今田良治）

広域連合事務局次長。

◎広域連合事務局次長（谷川昌行）

はい、ただいま、上程されました議案につきまして、御説明申し上げます。

「議案第4号 令和元年度広島県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）」でございます。恐れいりますが、座って説明させていただきます。議案書の14ページをお開きください。議案書14ページでございます。特別会計補正予算（第1号）は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ57億8,504万3千円を追加し、予算の総額をそれぞれ4,219億2,408万2千円とするものでございます。15ページをお開きください。

この補正の内容について御説明いたします。まず、歳入でございます。

「1款 市町支出金」「1項 市町負担金」の7億6,090万5千円の追加は、平成30年度の市町負担金の精算に伴い、市町から広域連合へ追加納付していただく額を計上したものでございます。「2款 国庫支出金」「2項 国庫補助金」の1万9千円の追加は、東日本大震災に係る保険料等の減免措置に対する平成30年度分の追加交付分を計上したものでございます。「4款 支払基金交付金」「1項 支払基金交付金」の19億3,419万9千円の減額は、平成30年度の医療給付費の確定に伴う後期高齢者交付金の返還金につきまして、令和元年度の当該交付金へ充当することに伴う減額を計上したものでございます。「7款 繰入金」「2項 基金繰入金」の6億1,701万円の追加は、歳入と歳出の差額につきまして、後期高齢者医療給付準備基金から繰入る額を計上したものでございます。「8款 繰越金」「1項 繰越金」の63億1,529万8千円の追加は、平成30年度の決算剰余金を計上したものでございます。「10款 諸収入」「1項 延滞金、加算金及び過料」の30万円の追加、及び「3項 雑入」の2,571万円の追加は、平成30年度の市町が被保険者から徴収した保険料延滞金、市町が実施いたしました事業、保険料還付金等の精算に伴いまして、市町から納付していただく額を計上したものでございます。続きまして、16ページを御覧ください。

歳出でございます。「7款 諸支出金」「1項 償還金及び還付加算金」の57億8,504万3千円の追加は、平成30年度国庫支出金等の精算に伴い、国などへ返還する額を計上したものでございます。以上、上程されました議案につきまして概要を御説明申し上げます。

御審議の上、議決を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○議長（今田良治）

本件の質疑については、発言の通告はありませんので、本件質疑を終結し

ます。次に討論ですが、発言の通告はありませんので、本件討論を終結します。

本件を採決いたします。本件は、原案どおり可決することに賛成の方は御起立願います。

(賛成者起立)

○議長（今田良治）

起立総員。よって、本件は可決されました。

○議長（今田良治）

以上をもちまして、本定例会に付議された事件は、全て議了いたしました。閉会に当たり、広域連合長の挨拶があります。

◎広域連合長（平谷祐宏）

令和元年第1回の広域連合議会定例会の閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、提案いたしました各議案につきまして、慎重に御審議の上、議決を賜りました。厚くお礼申し上げます。

今後、引き続き、安定した制度の運営に向けまして、皆様の格別なる御支援、御協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます。閉会の挨拶とさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

○議長（今田良治）

議員各位におかれましては、案件について、熱心に御審議いただきまして、無事閉会の運びとなりました。

皆様の御協力に対し、心からお礼申し上げる次第であります。これをもちまして、本定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後 2 時 5 5 分 閉 会

地方自治法第 123 条第 2 項の規定により署名する。

広島県後期高齢者医療広域連合議会議長 今田良治

広島県後期高齢者医療広域連合議会臨時議長 山本一也

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員 乗越耕司

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員 福田義人